復興（ふっこう）に継続（けいぞく）した支援（しえん）を

東日本大震災筑紫野市追悼式・復興祈念式

東日本大震災の発生から6年となった3月11日（土）、筑紫野市役所本庁舎前において、東日本大震災筑紫野市追悼式・復興祈念式を挙行し、筑紫野市議会、各コミュニティ運営協議会、消防団員、市職員から計158人が参加しました。

式では、震災発生時刻の14時46分にサイレンを鳴らし犠牲となった方々へ黙とうを捧げました。また、復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の支援のため、宮城県亘理郡山元町へ派遣した文化情報発信課 川口主任から「被災した方々の生活と心の復興にはこれからも継続した支援が必要です。被災地で業務に当たり、行政で働くということは100年先の人々を守る仕事であるということを強く感じました」と報告がありました。

復興庁によると、避難生活を強いられている人は12万人を超え、県内にも684人の避難者がいます。（2月13日現在）

今後も継続した支援と同時に、震災を貴重な教訓とし災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。

14時46分、サイレンとともに黙とうを捧げました

災害に強いまちづくりへの協力を呼びかける藤田市長

支援を行った被災地の状況を報告する、文化情報発信課川口 陽子主任

広告

広告

広告

広告の掲載は、株式会社ホープ ☎（716）1404に問い合わせください。

■発行／筑紫野市 ■編集／秘書広報課
〒818-8686 福岡県筑紫野市二日市西一丁目1番1号 ☎092(923)1111 FAX092(923)5391
■印刷／大成印刷株式会社
発行部数／41,200部